

## 抗 hnRNP-U / SAF-A 抗体, ウサギ抗血清 (HUT)

70-415 100 µl

**保存:** 4℃または-20℃で送付、-20℃ で保存。

**抗原:** リコンビナント MBT 融合マウス hnRNP-U (アミノ酸 No. 614-800).

**形状:** 0.05% sodium azide 添加ウサギ抗血清

**反応性:** マウス、ラット hnRNP-U と反応。アミノ酸配列の相同性からヒト hnRNP-U とも反応すると推測される。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング (1/3,000-1/1,000 希釈)
2. 免疫細胞化学 (1/1,000-1/500 希釈)
3. 免疫沈降

**背景:** ヘテロ核リボヌクレオタンパク質 U (hnRNP-U、**scaffold attachment factor A, SAF-A** と呼ばれる) は核マトリクス結合タンパク質であり、染色体 DNA に結合する。hnRNP-U は DNA の scaffold/matrix attachment 領域に特異的に結合し、クロマチンの高次構造に関与していると考えられる。hnRNP-U はまた RNA 結合タンパク質であり、ヘテロ核 RNA (hnRNA) と複合体を形成し、pre-mRNA のプロセッシングと輸送に重要な役割を果たしていると考えられる。

hnRNP-U はまた、ニューロンや骨格筋細胞など、分化の終了した細胞において発現している増殖抑制因子 *necdin* に結合することが報告されている。hnRNP-U は *necdin* を核マトリクスへ運び、そこで hnRNP-U と *necdin* は安定な複合体を形成する。*necdin* は 特異的な核内の構造において hnRNP-U と相互作用して細胞増殖を抑制していると考えられる (文献 2)。

マウス hnRNP-U に対する抗体 (HUT と命名) がウサギで作られた (文献 2)。

**データリンク:** Swiss-Prot [Q8VEK3](#) (マウス), [Q00839](#) (ヒト)

**文献:** この抗体は文献 2 で作成され、用いられた。

1. Kiledjian M and Dreyfuss G (1992) "Primary structure and binding activity of the hnRNP U protein: binding RNA through RGG box." *EMBO J* 11: 2655-2664 PMID: [1628625](#)
2. Taniura H and Yoshikawa K (2002) "Necdin interacts with the ribonucleoprotein hnRNP U in the nuclear matrix." *J Cell Biochem* 84:545-555 PMID: [11813259](#)

**Related product:** [#74-100 anti-Necdin antibody](#)

次ページへ

